

SENKE HANNAH

フェムケ・ヘレフラーフェン

Corrupted Air | 腐敗した空気

2023年1月28日(土)→3月21日(火・祝) 11:00 - 19:00 (月曜休館)

Corrupted Air

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

@KCUA
KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

NEW
CAMPUS 2023

フェムケ・ヘレブラーフェン

「Corrupted Air | 腐敗した空気」

会期：2023年1月28日(土) - 3月21日(火・祝)

11:00-19:00 (月曜休館)

企画：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

主催：京都市立芸術大学

助成：公益財団法人花王芸術・科学財団、芸術文化振興基金

後援：オランダ王国大使館

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

〒604-0052 京都市中京区押小路町238-1

Phone: 075-253-1509 / E-mail: gallery@kcua.ac.jp

<https://gallery.kcua.ac.jp>



*京都市バス・京都バス「堀川御池」下車すぐ

*京都市営地下鉄東西線「二条城前」駅下車2番出口より徒歩3分

公益財団法人 花王 芸術・科学財団



フェムケ・ヘレブラーフェン(1982年生まれ)は、現代の金融技術やインフラに関する抽象的なデータから、それらが持つ意味や生態学的影響などについて検証し、ジャンル横断的で多様な表現方法を用いて独自のイメージを生み出す気鋭のアーティストです。本展は、国際的に高く評価された《Corrupted Air—Act VI (腐敗した空気—第6幕)》(2019)を中心に、彼女の活動を日本で初めて紹介する貴重な機会となります。同作品は、大災害に投機する金融商品であるカタストロフィ・ボンド(大災害債/CATボンド)についての調査研究から過去の生態系の大惨事を証言し、すでに絶滅してしまった生物のデジタルモデルの3体が、人間によって引き起こされようとしている「6度目の大絶滅」について議論するという演劇的なインスタレーションです。パンデミック以前に作られた作品ではありますが、目に見えない空気中のウイルスに怯えながら日々を過ごす「コロナ禍」を経験し、未だその呪縛から解放されていない私たちにとって、この「Corrupted Air (腐敗した空気)」というタイトルは、かけているかのように感じられます。

生ある者は二度しか死ねない。
一度目は呼吸が止まったとき、
二度目は誰かに最後に名前を呼ばれたとき。

Installation view of Femke Herregraven, *Corrupted Air—Act VI*, Taipei Biennial 2020.

Courtesy of the artist and Taipei Fine Arts Museum.